

2025.5.20



麻布台ヒルズ



2025年3月期 決算概要



2025年3月期 連結損益計算書の概要

(単位:億円)

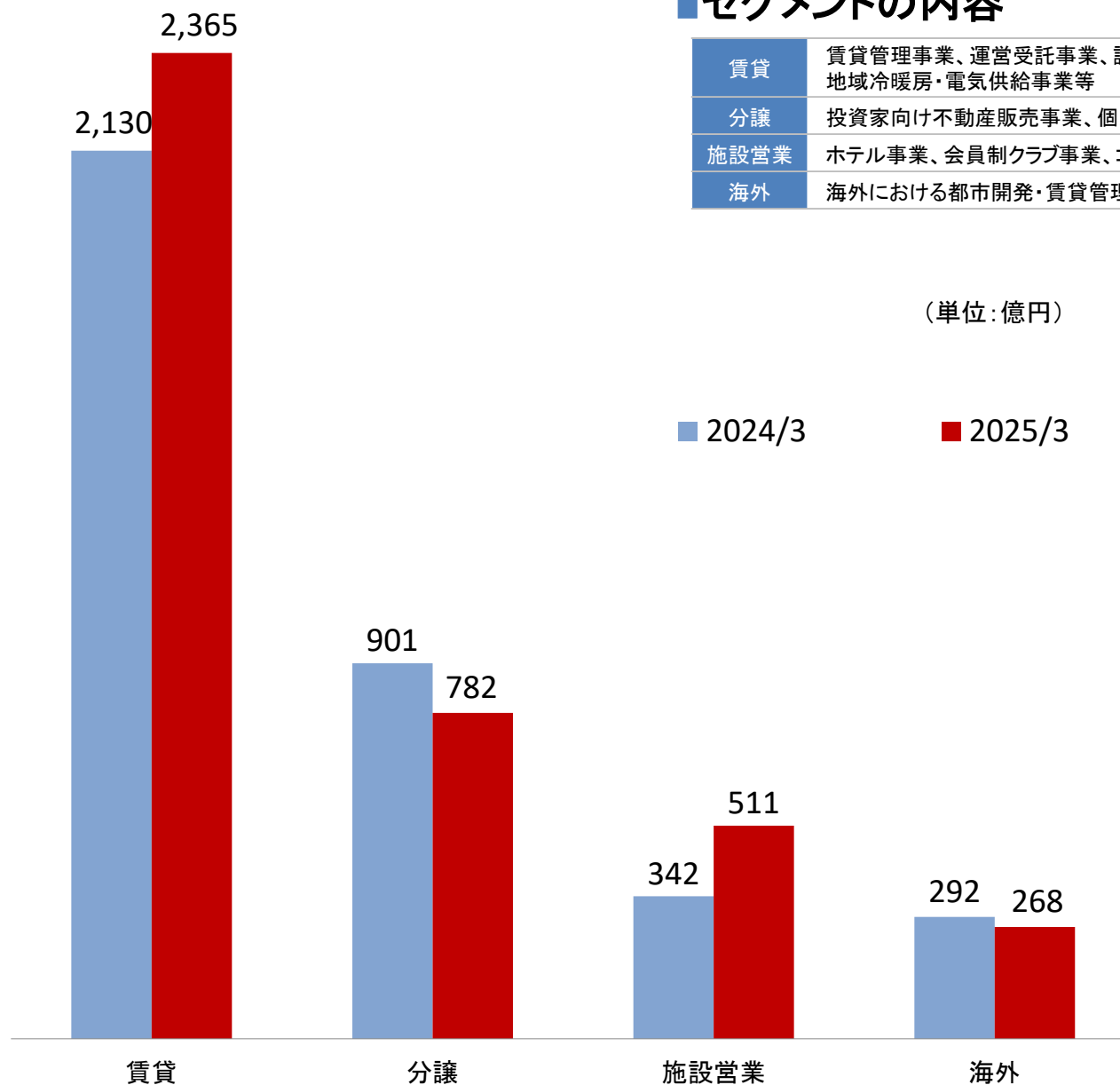
	2024/3	2025/3	増減	
営業収益	3,604	3,858	+253	+7.0%
営業利益	781	842	+61	+7.8%
営業外損益	△64	△57	+7	
経常利益	717	785	+68	+9.5%
特別損益	68	△12	△80	
税金等調整前当期純利益	785	773	△12	
親会社株主に帰属する当期純利益	589	504	△84	△14.4%

■セグメントの内容

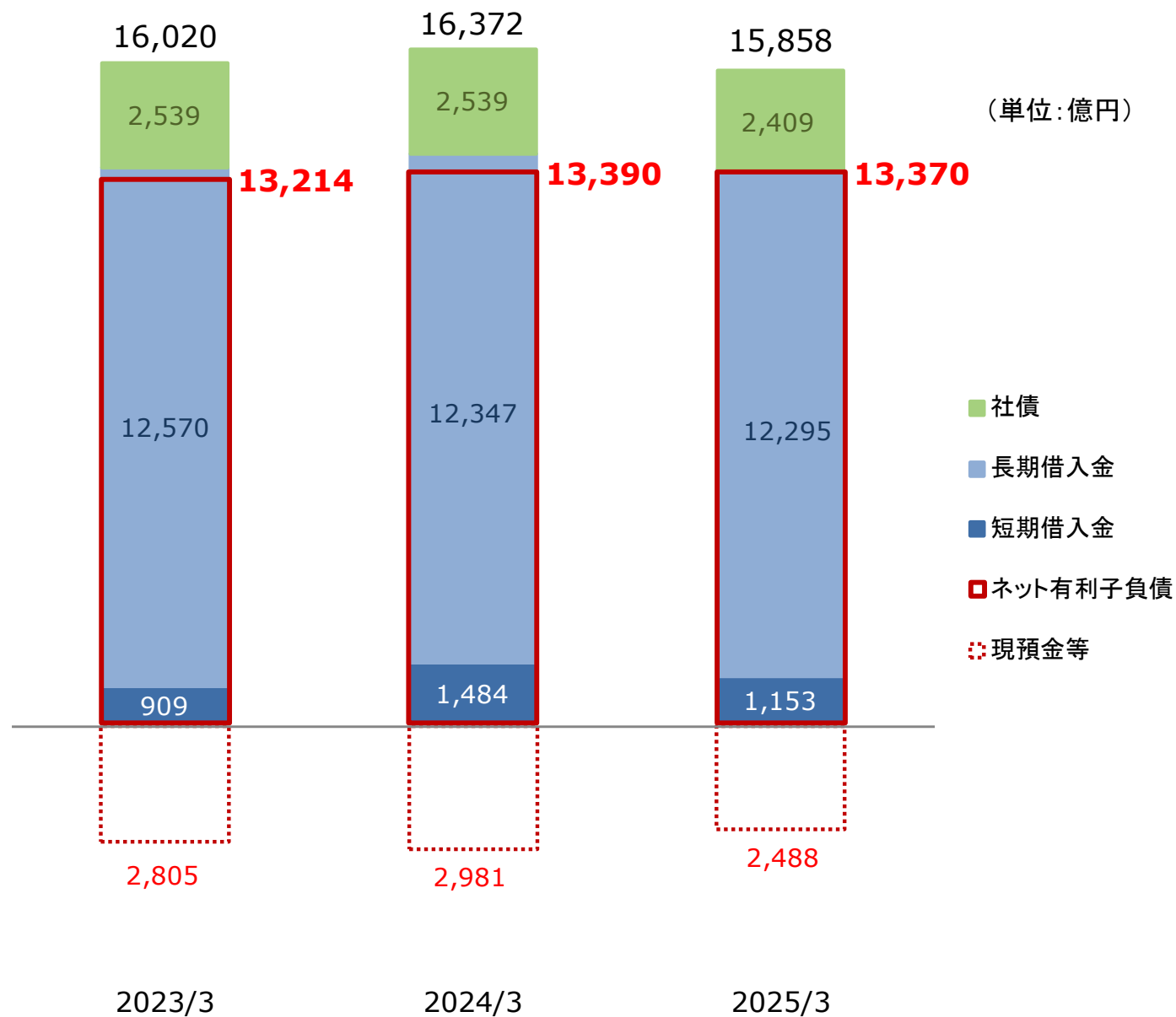
賃貸	賃貸管理事業、運営受託事業、請負工事業、地域冷暖房・電気供給事業等
分譲	投資家向け不動産販売事業、個人顧客向け住宅分譲事業
施設営業	ホテル事業、会員制クラブ事業、ゴルフ事業
海外	海外における都市開発・賃貸管理事業等

(単位:億円)

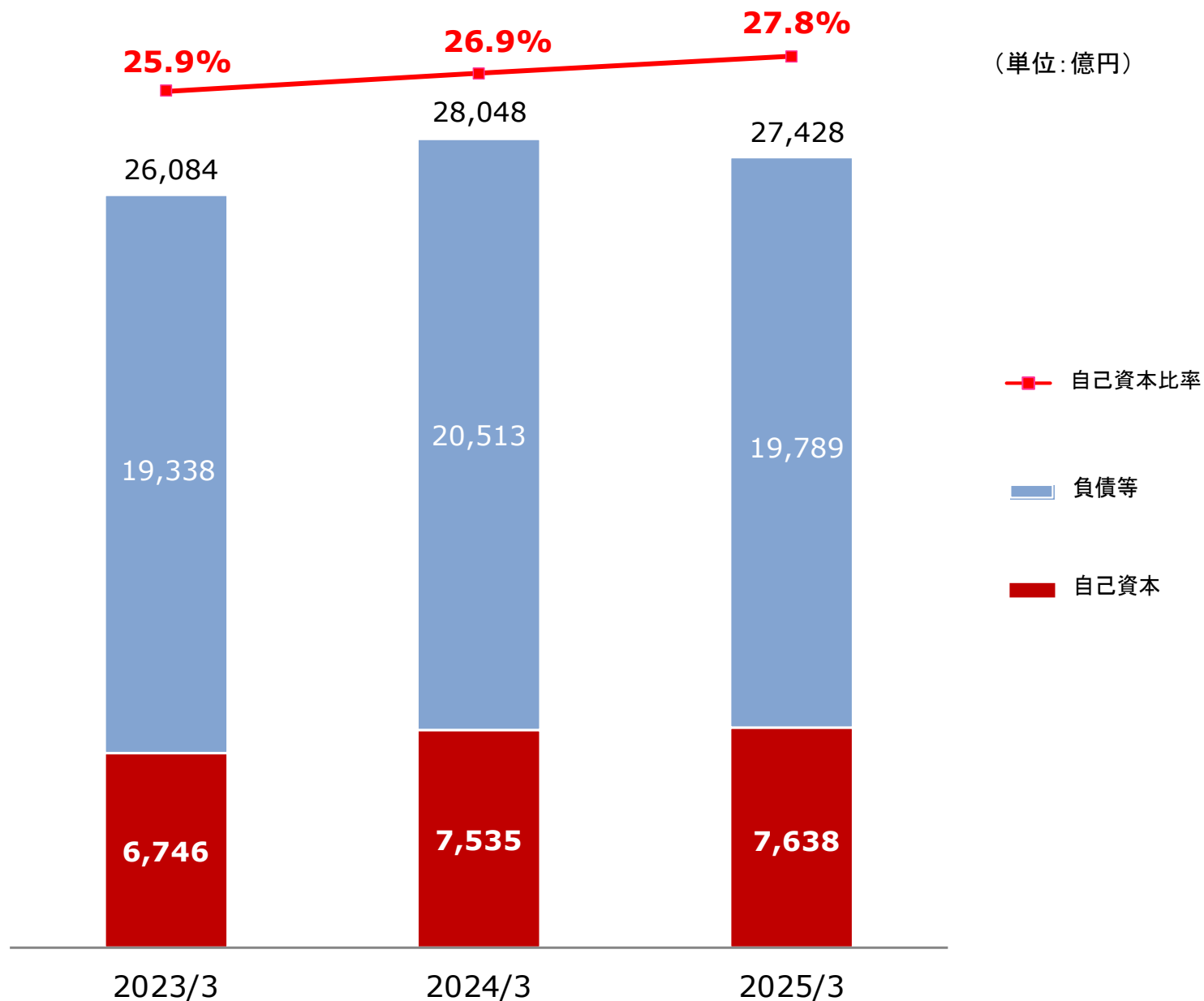
■ 2024/3 ■ 2025/3



2025年3月期 有利子負債の状況



2025年3月期 自己資本(比率)の状況



2026年3月期 業績予想

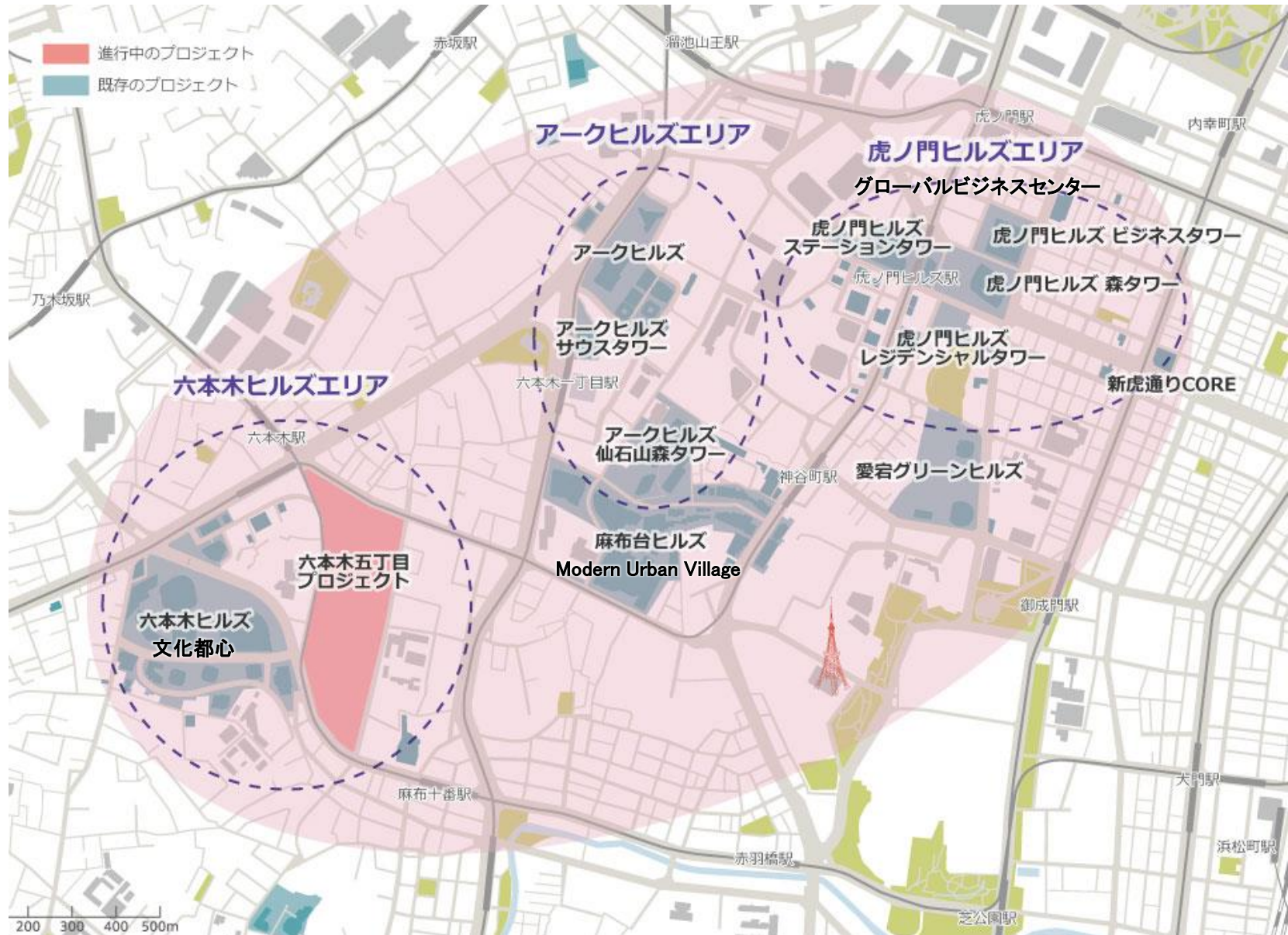
(単位:億円)

	2025/3	2026/3 予想	増減	
営業収益	3,858	3,950	+91	+2.4%
営業利益	842	850	+7	+0.8%
経常利益	785	790	+4	+0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	504	510	+5	+1.0%

森ビルの取り組み

※ 進行中のプロジェクトについては現段階での計画概要に基づいたものです。
完成時には一部異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

現在計画・進行中の当社プロジェクト



- 圧倒的なスケールとインパクトを誇る“ヒルズの未来形”として、2023年11月24日に開業した「麻布台ヒルズ」。
- コンセプトは「Modern Urban Village」 緑に包まれ、人と人をつなぐ広場のような街。「Green」と「Wellness」を柱に、自然と調和した環境の中で多様な人々が集い、人間らしさの追求と新たなコミュニティの形成を目指す。
- 6000㎡の広大な中央広場を中心に、オフィス、住宅、ホテル、インターナショナルスクール、商業施設、文化施設など、多様な都市機能を徒歩圏内で集約したコンパクトシティ。「暮らす」「働く」「集う」「憩う」「学ぶ」「楽しむ」「遊ぶ」など、人々の営みがシームレスにつながる街で、人と自然が調和し、人々が刺激しあいながら創造的に生きられる新しい都市生活の実現を目指す。



中央広場



軒を連ねるラグジュアリーブランド



慶應義塾大学予防医療センター



麻布台ヒルズ マーケット



ブリティッシュ・スクール・イン 東京



ジャヌ東京

- 街のコンセプトを支える柱の1つである「Green」を体現すべく、四季折々のグリーンを満喫できるイベント「AT THE GREEN」や菜園でのワークショップ、麻布台ヒルズの豊かな“緑”を巡る「緑のツアー」、コラボレーションパートナーであるNIKEと連携したランニングプログラムなど、広大な空間と緑豊かな環境を活用した様々なイベントを開催し、街のコミュニティを醸成中。
- もう1つの柱である「Wellness」についても、慶応義塾と「ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座」を開設し、人々の心身の健康を推進する、未来志向の研究や実証実験を推進中。



緑のツアー



ウェルネスプログラム



納涼祭り



アウトドアシネマ



SUMMER GARDEN



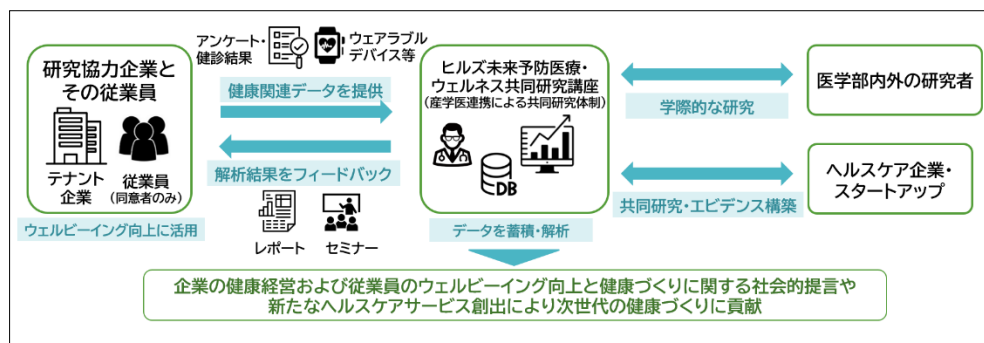
菜園でのワークショップ

【慶應義塾と推進する共同研究】

- 慶應義塾と森ビルが開設したヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座の一環として、麻布台ヒルズの入居企業24社の従業員を対象に、「働く人々の心身の健康・ウェルビーイング向上を目指した調査」を開始。
- 調査結果をもとに、ウェルビーイングを高めるためのサービス・環境を街に実装し、個人の健康増進及び企業の健康経営推進に貢献。さらに次世代に向けた健康経営および予防医療の発展に貢献する研究成果の創出を目指す。
- 次年度以降は調査規模を拡大し、都心部で働くワーカーを対象に最大1万人規模で経時的に各種データを収集予定。

【経済産業省と推進するプログラム】

- 経済産業省「令和6年度日常生活におけるPHRを活用したユースケース創出に向けた実証調査事業」を森ビルが受託。
- 個人の健康・医療情報の活用による行動変容と商業施設への送客効果を検証すべく、麻布台ヒルズ入居企業の従業員を対象に、街を挙げた実証実験を2024年9月～12月まで実施。



慶應「働く人々の心身の健康・ウェルビーイング向上を目指した調査」



経産省「日常生活におけるPHRを活用したユースケース創出に向けた実証調査」

国際新都心・グローバルビジネスセンター「虎ノ門ヒルズ」

- 2023年10月6日、「虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」の開業により、区域面積約7.5ha、延床面積約80万㎡、多様な都市機能に加えて、道路や鉄道などの交通インフラとも一体化し、六本木ヒルズに匹敵するスケールとインパクトを誇る「国際新都心・グローバルビジネスセンター」として、虎ノ門ヒルズがさらに拡大・進化。
- ステーションタワーの開業により、これまで日本の地下鉄駅にはなかった開放的な駅前広場「ステーションアトリウム」や、桜田通り上にかかる幅員20mの大規模な歩行者デッキ「T-デッキ」が整備され、エリア全体の回遊性と賑わいが大幅に向上。
- 「ステーションアトリウム」は、様々なビジネスピッチイベントや、六本木ヒルズで長年開催していたトークイベント「Hills Breakfast」の会場としても活用されており、街を訪れる人々のコミュニケーション機会の創出と、街に住み、働く人々のコミュニティ醸成の場として寄与。



虎ノ門ヒルズ (2025年5月13日撮影)



ワーカーズナイト



TORANOMON HILLS YOGA



虎ノ門ヒルズのゴールデンウィーク



ステーションアトリウムでのHills Breakfast

「グラスロック」が開業し、ステーションタワーの再開発事業が完結

- 虎ノ門ヒルズ「グラスロック」が、2025年4月9日に開業。これにより、虎ノ門ヒルズ ステーションタワーの再開発事業が完結。
- 虎ノ門ヒルズエリアの中心に位置する地上4階・地下3階、延床面積約8,800m²の複合施設。地下1階では東京メトロ日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」の駅前広場に直結。2階部分を幅員20mの大規模歩行者デッキ「T-デッキ」が貫通。虎ノ門ヒルズエリアの交通結節機能及び回遊性の向上に貢献。
- 飲食・物販など、7店舗を擁する「グラスロック」により、虎ノ門ヒルズエリアの店舗数は約170店舗・約26,000m²へとさらに拡大。
- 地上4階・地下1階には会員制施設「GlassRock」が誕生。企業や行政、NPO・NGO、個人など、領域を超えた連携と共創を促進することで、「社会課題解決」を起点にしたイノベーションの創出と持続可能な社会の実現を目指す。



地上4階・地下3階、延床面積約8,800m²の複合施設「グラスロック」



未来型の体験を生み出す書店「magmabooks」

- 東京・日本の課題でもあるイノベーションや新ビジネスの創出に向けて、「虎ノ門ヒルズ」や「麻布台ヒルズ」を舞台に、イノベーションエコシステムを構築。
- 「虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」には、大企業の新規事業創出に特化したインキュベーション施設「ARCH Toranomom Hills」(約120社、約1,000名が参画)や日本最大級のスタートアップ集積拠点「CIC Tokyo」(350社以上)が集積。「森タワー」にはエリア最大のカンファレンス施設「虎ノ門ヒルズフォーラム」、「ステーションタワー」最上部には情報発信拠点「TOKYO NODE」を開設。「麻布台ヒルズ」には、日本初のベンチャーキャピタル集積拠点「Tokyo Venture Capital Hub」が誕生。
- 4月に開業した会員制施設「Glass Rock」では、「社会課題解決」を起点にしたイノベーションの創出と持続可能な社会の実現を目指す。



ARCH Toranomom Hills(ビジネスタワー)



CIC Tokyo(ビジネスタワー)



TOKYO NODE(ステーションタワー)



虎ノ門ヒルズフォーラム(森タワー)



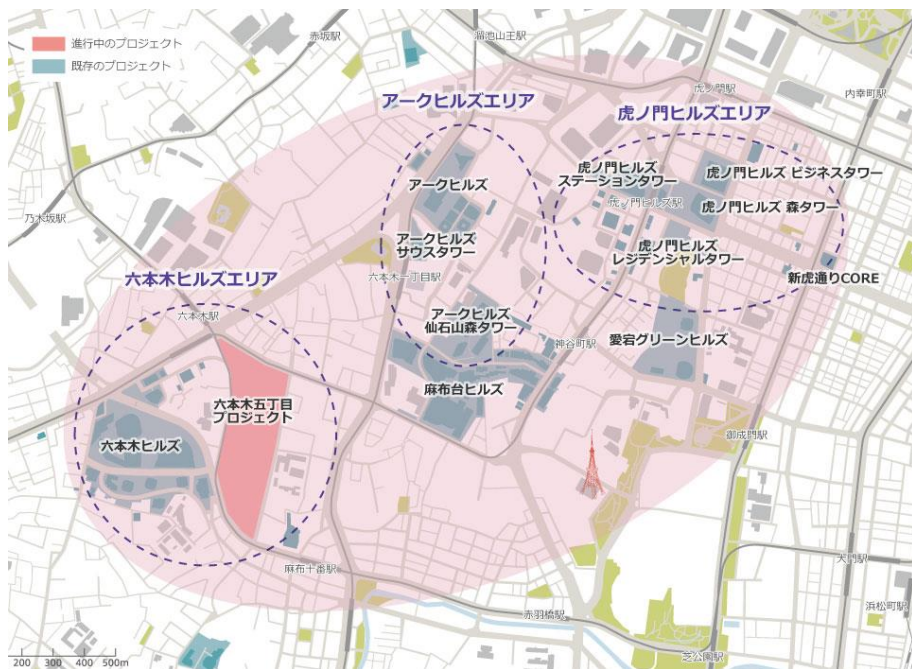
Glass Rock(グラスロック)



Tokyo Venture Capital Hub(麻布台ヒルズ)

複数のヒルズを繋ぎ、新たな文化・経済圏を創出

- 2024年11月7日～12月25日には、「六本木ヒルズ」「麻布台ヒルズ」「虎ノ門ヒルズ」「表参道ヒルズ」「アークヒルズ」の5つのヒルズを連動させた「CHRISTMAS HILLS 2024」を展開。クリスマスマーケットやイルミネーション、ユニークなクリスマスツリーなど、各ヒルズならではのクリスマスイventを開催し、それぞれのヒルズを巡り上質なクリスマスのひと時を過ごしてもらう仕掛けを実施。
- 桜の時期には、「六本木ヒルズ」「アークヒルズ」「麻布台ヒルズ」「虎ノ門ヒルズ」「愛宕グリーンヒルズ」の5つのヒルズの桜を散策してめぐる「Hills Sakura Journey」を展開。
- 引き続き、コンセプトの違う複数のヒルズを繋ぎ、新たな文化・経済圏の創出を目指す。



ヒルズエリア



麻布台ヒルズ クリスマスマーケット



六本木ヒルズ けやき坂イルミネーション



六本木ヒルズ 春まつり



アークヒルズ 桜まつり

ヒルズを舞台に多様な子ども向けワークショップを展開

- 街がまるごと学び場になる、子どもが主役のワークショップとして、2006年以来、毎年夏に「ヒルズ・ワークショップ フォー・キッズ」を開催。六本木ヒルズや虎ノ門ヒルズのテナント企業や店舗などと連携し、街を舞台に子どもたちに学びの場を提供している。2024年(7月27日～8月18日)は、新たに麻布台ヒルズの各施設や店舗も加わり、91種類のプログラムを開催、約4,000人が参加。
- 森ビルがこれまでに培ってきた街づくりのノウハウを活かし、楽しく学びながら、次世代の都市のあり方を考える「ヒルズ街育プロジェクト」では、5日間にわたって子どもたちが未来の街を考える「みらまちキャンプ」を開催(1月～3月)。街を考えるうえで重要なテーマである「安全」「環境」「文化」について横断的に学び、「未来の街」をつくるアイデアを考え、カタチにするプログラムを実施し、延べ225人が参加。2024年度 ヒルズ街育プロジェクトの実施回数は計62回、動員人数は過去最高となる1,802名を記録。



親子で楽しむ美味しく作るぬか漬け教室
(ヒルズ・ワークショップ フォー・キッズ 2024)



最先端の医療機器でリアルな医療体験を！
(ヒルズ・ワークショップ フォー・キッズ 2024)



“Perfume展”の舞台裏ツアー
(ヒルズ・ワークショップ フォー・キッズ 2024)



みんなのアイデアをカタチに！未来ソウゾウワークショップ
(みらまちキャンプ)



五感で感じる冬の麻布台ヒルズ、
みどりと環境のヒミツ探検ツアー(みらまちキャンプ)



特別公開！巨大都市模型で学ぶ街づくりのヒミツ探検ツアー
(みらまちキャンプ)

「六本木5丁目プロジェクト」を推進中

- 2023年7月に「六本木5丁目プロジェクト」の都市計画提案を実施し、2024年4月に都市計画決定。
- 区域面積約10ha、延床面積約108万㎡、地上66階・高さ約330mの超高層タワーを核とし、オフィス、住宅、ホテル、商業施設、文化施設などを備えた日本最大級の再開発事業。
- 広大な敷地を人工地盤で一体的に覆い、さらにその上を緑で覆うことで、約16,000㎡の屋上庭園「都心の森」を創出。

※住友不動産と共同参画する市街地再開発事業



米国「One Vanderbilt Avenue」の所有持分の一部を取得

- 2024年11月21日（米国東部標準時間）、米国ニューヨーク市の新たなランドマークとして知られる「One Vanderbilt Avenue」の所有持分の一部を、本物件を開発・運営するニューヨーク市の大手不動産会社（SL Green Realty Corp.）より取得。
- One Vanderbilt Avenueは2020年開業。商業地や観光地として知られ、近年では多くの国際的な金融機関も集う経済や文化の中心地・ミッドタウンの42ndストリートとバンダービルト・アベニューの角に位置し、ニューヨーク屈指のターミナル、グランド・セントラル駅とも直結。
- 地上59階、高さ430mの超高層タワーは、六本木ヒルズ森タワーなどの設計で知られるコーン・ペダーセン・フォックス・アソシエイツがデザイン。賃貸面積約 14 万 2,000 m²のオフィスをはじめ、ミシュランの星付きレストランを含む商業施設、ニューヨークの新名所として賑わう全面ガラス・鏡張りの展望台「SUMMIT One Vanderbilt」などを擁する。
- 今後も、六本木ヒルズや麻布台ヒルズ、虎ノ門ヒルズなど、日本国内で培ってきた経験とノウハウを活かし、国境を超えて都市づくりの開発投資やコンサルティングなど多様なプロジェクトを展開していく。



One Vanderbilt Avenue (写真中央)



展望台 SUMMIT One Vanderbilt

サステナビリティに関する認証・受賞

- 麻布台ヒルズや虎ノ門ヒルズ、長年にわたる森ビルの都市づくりについて、サステナビリティの観点から国内外で高く評価。

「WELL Core」で、最高ランクのプラチナ本認証を取得(麻布台ヒルズ 森JPタワー、虎ノ門ヒルズ ステーションタワー)

「麻布台ヒルズ 森JPタワー」と「虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」が、オフィス・商業施設の共用部分において、人々の健康やウェルネスに建物が及ぼす影響に着目した「WELL Core」で、最高ランクのプラチナ本認証を取得。



米国の国際環境性能認証制度「LEED」の「ND」、「BD+C」カテゴリでプラチナ予備認証を取得

「麻布台ヒルズ」と「虎ノ門ヒルズ」が、国際環境性能認証制度「LEED」のエリア開発を対象とした「ND」カテゴリで、最高ランクのプラチナ予備認証を取得。



「CDP2024 気候変動のAリスト(最高評価)」に認定(森ビル株式会社)

企業等の環境関連の戦略や取り組みなどを評価・認定する国際的な非営利団体CDP(本部:英国ロンドン)より、「気候変動」分野の最高評価である「Aリスト企業」に、森ビル株式会社が2年連続で認定。



国土交通省「優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)」で最高ランク取得(麻布台ヒルズ)

「麻布台ヒルズ」が、国土交通省が令和6年度に創設した「優良緑地確保計画認定制度(TSUNAG)」の第1号認定において、最高ランクである「★★★(トリプル・スター)」を取得。



国土交通大臣賞<循環のみち下水道賞>グランプリ(麻布台ヒルズ)

麻布台ヒルズにおける「地域冷暖房の熱源に下水道管から回収した下水熱を利用する国内初の事例」が評価され、応募案件のうち最も優れた取り組みとしてグランプリを受賞。



第32回地球環境大賞「大賞」(森ビル株式会社)

アークヒルズから系譜を継ぐ森ビルの都市づくりの思想を基に、「虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」と「麻布台ヒルズ」を開業させ、都心部に豊かな緑地空間を創出するとともに、再エネや廃棄物のための先進システムを設置したことなどを高く評価。

「営農型太陽光発電所」を順次開発中

- 当社グループの温室効果ガス排出量削減目標については、2022年9月にRE100に参加、同12月に中間目標についてSBTi認定取得、2025年3月末時点で国内需要の約8割を再エネ電力に切替え完了。東京電力エナジーパートナー株式会社と『脱炭素推進に関する基本協定』を締結し、各物件への安定的な再エネ電力供給を目指す。
- その一環として、農業と太陽光発電を同時に行う「営農型太陽光発電所」を順次開発。茨城県筑西市(2024年2月運転開始)を皮切りに、群馬県桐生市(2025年1月運転開始)、栃木県栃木市(2025年2月運転開始)にて「営農型太陽光発電所」が完成。
- 「営農型太陽光発電所」で生み出される再生可能エネルギー由来の電力は、当社が管理運営する物件に供給(供給量は、物件使用電力量の10～15 %相当)。敷地においては2025年秋頃の収穫を目指し協力事業者による営農を開始。
- 物件の需要に合わせた電力供給を目指し、蓄電池併設型太陽光発電、風力発電の開発も推進中。



森ビル筑西市桑山営農型太陽光発電所



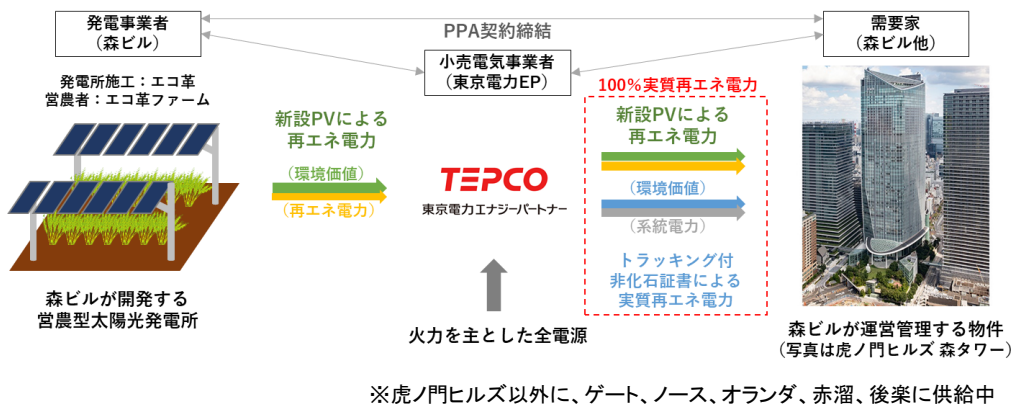
森ビル桐生市山上営農型太陽光発電所



森ビル栃木市宮町営農型太陽光発電所



2025年秋の収穫に向けて営農を開始



「健康経営優良法人(ホワイト500)」に4年連続で認定

- 経済産業省による健康経営度調査において、「健康経営優良法人(大規模法人部門)2025」(ホワイト500)に4年連続で認定。

■森ビル健康経営宣言

森ビルは、社員一人ひとりが心身ともに健康で、意欲的に仕事に取り組めるよう、従業員等の健康管理を経営戦略として捉え、健康経営を推進してまいります。

社員の健康維持・増進を図ることで、個人と企業双方の活力とパフォーマンスを高め、さらなる成長・発展につなげます。

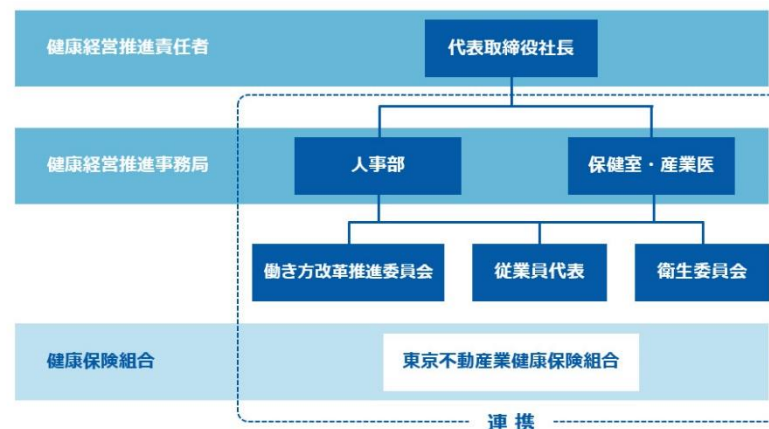
さらに、「都市を創り、都市を育む仕事を通じて人々や企業を元気にする」という当社の社会的使命を果たすため、住む人、働く人、訪れる人が心身ともに健康で、生き生きと過ごすことができる都市づくりをより一層進めてまいります。

■推進体制

森ビルでは、代表取締役社長を健康経営推進責任者として、経営的な視点からグループ全体の健康経営を推進しています。

また、人事部・保健室・産業医が健康経営推進事務局として、働き方改革や従業員代表、衛生委員会と連携して、社員の健康維持・増進のためのさまざまな施策を展開しています。

さらに、当社が加入する東京不動産健康保険組合とは、健康課題を共有し、施策の協議をするなどの連携をしています。



【健康経営度調査】

経済産業省が各企業の健康経営の取組状況と経年での変化を分析することを目的として2015年から開始。毎年この調査の回答内容を元に、「健康経営銘柄」の選定および「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の認定を行う。

2024年度 下半期の主な取り組み（プレスリリース配信日）

10月1日	【森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス】開館8ヶ月で来場者100万人を達成！
10月3日	シリコンバレーにおける起業家育成プログラムの拠点「Japan Innovation Campus」令和9年度まで受託継続が決定
10月4日	【麻布台ヒルズ】食欲の秋を満喫できる「ハーヴェストウィーク」を開催！
10月8日	【虎ノ門ヒルズ】「TORANOMON HILLS CHRISTMAS 2024」開催
10月15日	【麻布台ヒルズ】「Azabudai Hills Christmas 2024」開催
10月16日	【虎ノ門ヒルズ】虎ノ門ヒルズ ステーションタワー「2024年度グッドデザイン賞」を受賞
10月17日	【TOKYO NODE】虎ノ門ヒルズ「apothéose（アポテオーズ）」開店1年目で『ミシュランガイド東京2025』にて一つ星獲得
10月23日	【森美術館】理事長交代のお知らせ
10月24日	【アークヒルズ】森とのつながりをテーマに「ARK HILLS CHRISTMAS 2024」開催
10月29日	【東京シティビュー】手塚治虫「火の鳥」展 開催
10月30日	【表参道ヒルズ】OMOTESANDO HILLS CHRISTMAS 2024開催
11月7日	【六本木ヒルズ】「クリスマスマーケット2024」開催
11月7日	『CHRISTMAS HILLS 2024』本日よりいよいよスタート！
11月14日	「働く人の心身の健康やウェルビーイングに資するデータベース構築」を開始 ～麻布台ヒルズの入居企業と協力し、街を挙げた大規模調査を実施～
11月20日	【TOKYO NODE】「デザインあ展neo」2025年春に開催決定！
11月20日	【TOKYO NODE】生成AI向け学習用“3D映像データセット”の開発・提供サービスを開始
11月22日	【麻布台ヒルズ ギャラリー】ニューヨークを拠点に世界を魅了する現代アーティスト、松山智一の個展 2025年春開催
11月22日	「One Vanderbilt Avenue」の所有持分の一部を取得

2024年度 下半期の主な取り組み（プレスリリース配信日）

11月28日	陸上競技の世界最高峰「東京2025世界陸上競技選手権大会」スポンサーシップ契約締結
12月5日	2024年 東京23区オフィスニーズに関する調査
12月23日	【麻布台ヒルズ ギャラリー】「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」来場者10万人を達成！
1月6日	森ビル株式会社 2025年 年頭 社長所感（要旨）
1月9日	【東京シティビュー】天空を纏う TOKYO CITY VIEW × YUIMA NAKAZATO 1月22日（水）～2月16日（日）開催
1月27日	虎ノ門ヒルズ「グラスロック」が開業
1月30日	【森美術館】「藤本壮介の建築：原初・未来・森」開催
2月6日	【森ビル デジタルアート ミュージアム：エプソン チームラボボーダレス】開館1周年！ チケット完売率は98%、世界130以上の国や地域から155万人が来場
2月12日	【森美術館】「マシン・ラブ：ビデオゲーム、AIと現代アート」展 開催
2月13日	【東京シティビュー】「銀河鉄道999」50周年プロジェクト 松本零士展 創作の旅路 開催
2月26日	森ビル「CDP2024 気候変動のAリスト（最高評価）」に認定
2月27日	【TOKYO NODE】世界最大級の最先端テクノロジーの祭典「SXSW 2025」共同出展決定
2月28日	【アークヒルズ】「アークヒルズ さくらまつり2025」開催
3月6日	【麻布台ヒルズ】「SPRING AT THE GREEN」開催
3月7日	【六本木ヒルズ】「六本木ヒルズ 春まつり2025」開催
3月13日	「健康経営優良法人（ホワイト500）」に4年連続で認定
3月18日	国土交通省「優良緑地確保計画認定制度（TSUNAG）」で麻布台ヒルズが最高ランクを取得
3月27日	【麻布台ヒルズ】「MAY AT THE GREEN」を4月26日～5月6日に開催！

添付資料

連結比較貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部			
科 目	2024年3月31日	2025年3月31日	増減
流 動 資 産			
現 金 及 び 預 金	298,158	247,805	△ 50,352
営 業 未 収 入 金	31,058	25,625	△ 5,432
契 約 資 産	1,118	616	△ 502
有 価 証 券	-	1,000	1,000
棚 卸 資 産	71,833	43,257	△ 28,576
そ の 他	72,858	53,372	△ 19,485
貸 倒 引 当 金	△ 18	△ 179	△ 161
流 動 資 産 合 計	475,008	371,497	△ 103,510
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建 物 及 び 構 築 物	615,971	598,088	△ 17,882
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	24,683	24,500	△ 183
工 具 、 器 具 及 び 備 品	16,478	15,003	△ 1,474
土 地	662,693	665,248	2,555
建 設 仮 勘 定	32,137	25,465	△ 6,671
不 動 産 仮 勘 定	56,257	98,499	42,242
信 託 不 動 産	564,492	566,559	2,066
そ の 他	1,753	1,762	9
有 形 固 定 資 産 合 計	1,974,467	1,995,128	20,660
無 形 固 定 資 産			
借 地 権	59,768	59,776	7
の れ ん	10,726	9,574	△ 1,152
そ の 他	7,074	6,012	△ 1,061
無 形 固 定 資 産 合 計	77,570	75,363	△ 2,206
投 資 そ の 他 の 資 産			
投 資 有 価 証 券	128,241	154,776	26,535
エ ク イ テ ィ 出 資	22,592	22,589	△ 3
長 期 貸 付 金	75,288	70,409	△ 4,879
退 職 給 付 に 係 る 資 産	1,014	1,932	917
繰 延 税 金 資 産	1,043	802	△ 240
そ の 他	50,640	51,146	506
貸 倒 引 当 金	△ 972	△ 839	133
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	277,849	300,818	22,969
固 定 資 産 合 計	2,329,886	2,371,310	41,423
資 産 合 計	2,804,895	2,742,808	△ 62,086

負 債 の 部			
科 目	2024年3月31日	2025年3月31日	増減
流 動 負 債			
支 払 手 形 及 び 営 業 未 払 金	21,213	18,462	△ 2,750
短 期 借 入 金	148,491	115,362	△ 33,129
1 年 内 償 還 予 定 の 社 債	23,000	50,000	27,000
未 払 法 人 税 等	6,893	12,999	6,106
契 約 負 債	13,467	12,516	△ 951
賞 与 引 当 金	2,003	2,298	294
そ の 他	105,845	65,706	△ 40,139
流 動 負 債 合 計	320,915	277,345	△ 43,569
固 定 負 債			
社 債	230,950	190,950	△ 40,000
長 期 借 入 金	1,234,774	1,229,551	△ 5,222
受 入 敷 金 保 証 金	102,382	116,376	13,993
長 期 預 り 金	1,258	1,248	△ 10
退 職 給 付 に 係 る 負 債	1,985	1,943	△ 42
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,316	1,413	96
固 定 資 産 解 体 費 用 引 当 金	2,680	2,677	△ 3
繰 延 税 金 負 債	139,259	139,474	214
そ の 他	3,341	5,345	2,004
固 定 負 債 合 計	1,717,948	1,688,980	△ 28,968
負 債 合 計	2,038,863	1,966,325	△ 72,538
純 資 産 の 部			
株 主 資 本			
資 本 金	89,500	89,500	-
資 本 剰 余 金	32,598	32,611	12
利 益 剰 余 金	541,854	564,902	23,047
自 己 株 式	△ 11,507	△ 11,507	-
株 主 資 本 合 計	652,445	675,506	23,060
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額			
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	35,844	26,278	△ 9,565
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	995	1,798	803
為 替 換 算 調 整 勘 定	64,153	59,478	△ 4,675
退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	146	804	658
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	101,139	88,360	△ 12,779
非 支 配 株 主 持 分	12,446	12,616	169
純 資 産 合 計	766,031	776,482	10,451
負 債 純 資 産 合 計	2,804,895	2,742,808	△ 62,086

連結比較損益計算書

(単位:百万円)

科 目	自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日	自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日	増減
営 業 収 益	360,485	385,874	25,389
営 業 原 価	248,359	266,535	18,176
営 業 総 利 益	112,126	119,339	7,213
販売費及び一般管理費	33,934	35,042	1,107
営 業 利 益	78,191	84,296	6,105
受 取 利 息	997	1,364	367
受 取 配 当 金	657	377	△ 280
持分法による投資利益	1,621	2,947	1,325
そ の 他	3,418	2,446	△ 972
営 業 外 収 益	6,695	7,136	440
支 払 利 息	8,598	10,338	1,740
金 融 手 数 料	1,410	1,320	△ 89
そ の 他	3,115	1,189	△ 1,926
営 業 外 費 用	13,124	12,848	△ 275
経 常 利 益	71,762	78,583	6,820
固 定 資 産 売 却 益	6,632	1,528	△ 5,104
為替換算調整勘定取崩益	-	228	228
そ の 他	2,322	242	△ 2,080
特 別 利 益	8,955	1,999	△ 6,956
減 損 損 失	6	-	△ 6
建 物 内 装 解 体 費 用	-	2,790	2,790
そ の 他	2,121	474	△ 1,646
特 別 損 失	2,128	3,264	1,136
税金等調整前当期純利益	78,590	77,318	△ 1,271
法人税、住民税及び事業税	17,514	22,620	5,106
法 人 税 等 調 整 額	1,137	3,562	2,424
当 期 純 利 益	59,937	51,135	△ 8,802
非支配株主に帰属する当期純利益	966	655	△ 311
親会社株主に帰属する当期純利益	58,970	50,479	△ 8,491